



東南アジア地域研究研究所に到着

●国を超えて女性専門職が交流する場  
 本研究所のさくらサイエンスプラン交流事業内容の特色は、送り出し機関も日本側受入協力機関も常に複数機関が協働していることにある。日本側受入協力機関には、本学附属図書館や学内各図書館・室、学外においては国立国会図書館関西館・室、学外においては国立国会図書館関西館・東京大学経済学資料室ほか国内アジア研究拠点図書館が協力し、多彩な講師陣も加わり、送り出し側国情に即して多様な構成の研修プログラムの組み合わせが可能である。平均年齢は30歳代以上と、さくらサイエンスプラン参加者としてはやや年齢層が高い。送り出し機関も日本側受入協力機関双方とも、専門業務に習熟しかつ職場でのステップアップを狙う世代を対象としたOJT研修の意味をもっている。国と言語は異なる同業の専門職であるため、現場を一見す

さくらSPPが促進する  
 海外図書館との国際交流  
 京都大学東南アジア地域研究研究所におけるJSTさくらサイエンスプランによる受け入れ実績は、H26年度ラオス・カンボジア・ベトナム、H27年度タイ・インドシナ3国(ラオス、ベトナム、カンボジア)、H28年度ミャンマー・タイ、H29年度マレーシア、H30年度フィリピン、そしてR元年度カンボジア、さくらサイエンスプランと共に本研究所で招聘した参加者を含めると、すでに100名を優に超えている。うち、H26年度第3回以降は図書館が主担当部署である。主な目的は、海外図書館との継続的な人材交流と情報・資料交換にあるが、本研究所が年2回公募するVisiting Research Fellowの中の図書室卒応募者・機関の事前サーチを兼ねている。



大野美紀子  
(京都大学東南アジア地域研究研究所 助教)

### 京都大学の活動報告

科学技術  
 振興機構 『さくらサイエンスプラン』友情と感激

第184回

Ⅱ特別シリーズⅡ

プログラム	
1日目	到着 オリエンテーション
2日目	講義：日本の学術情報ネットワーク 視察と講義：京都大学附属図書館
3日目	視察：国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) 視察：国立国会図書館関西館
4日目	実務研修：京都大学図書館データベース操作と運用 講義：「地域研究情報基盤構築のためのMyDatabase構築」
5日目	講義と実務研修：「資料保存論」、資料修復・保存実習
6日目	講義：「東南アジア逐次刊行物データベース構築スキーム」 成果報告会
7日日	帰国

これまでに、さくらサイエンスプランを契機として、タイ・ラオスの参加者から各1名が、またベトナム・ラオス・マレーシア・タイ・ミャンマー・フィリピン送出し機関から各1名が来日し、外国人研究員として本研究所に滞在している。

